

令和3年度の学校評価

本年度の重点目標 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> 1 学習指導・進路指導の充実により、より高いレベルでの進路実現を目指す。 2 学習との両立を目指し、運動部も文化部も積極的に部活動に取り組む。 3 生徒が自主的、主体的に学校祭などの学校行事に取り組む。 4 姉妹校との国際交流など、国際理解教育に積極的に取り組む。 		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の整備 ・P T Aと学校の相互理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災委員会の活動を全校に向けて発信する。 ・P T Aが学校活動に参加する機会を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災委員を中心として、いざというときに対応できる力を身につけるためにどうすればよいか、話し合う。 ・常任理事会、理事会での活発な議論を通じて、P T A総会、懇談会、文化祭でのバザー・模擬店、研修旅行などの行事を計画的・有意義に行う。
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を図る ・授業規律の徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高めるような授業に心がける。 ・家庭での学習習慣を身につけさせる。 ・基礎・基本を定着させ、発展的な学習に取り組ませる。 ・授業を大切にさせる。 ・学習環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における達成感や満足感を大切に、知的好奇心や向上心を育てる。 ・次期学習指導要領で求められている、主体的、対話的で深い学びを実現するために、カリキュラム委員会と連携して授業改善を推進する。 ・日常の宿題や週ごとの課題等で、家庭での学習を具体的に指示し、家庭学習に取り組ませる。 ・課題の実施状況や指導方法を情報交換し、常に改善を心がける。 ・授業の予習復習や日常の宿題を励行させることで、基礎・基本を定着させ、発展的な学習内容も具体的に指示することで、確かな学力を育成する。 ・わかる授業、参加する授業に心がけ、授業への意識を高めさせる。 ・授業に集中できない生徒に対しては、組織的、段階的な指導を行う。 ・担任会、学年会、教科主任会との連携や協力で、学習環境の整備に取り組む。
生徒指導 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・規律正しい生活習慣の確立 ・いじめの早期発見 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者を減少させる。 ・身だしなみを向上させる。 ・通学マナーの向上を図る。 ・いじめアンケートを有効活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻が多い生徒は、学年団と協力しながら「早出指導」などを実施し、基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・常に身だしなみを整えるよう指導する。特に化粧やスカート丈を短くする行為をなくすように指導する。 ・「【0の日】朝の交通安全指導」や「下校時交通安全指導」を通して安全に通学するよう指導する。 ・必要に応じて担任が面談し、生徒指導部と学年会で連携して解決を図る。
生徒会 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会、各委員会を活性化し、生徒の生徒会への参加意識を高める。 ・学校祭などの行事を生徒が中心となって実施する。 ・部活動の活性化を進める。 ・ボランティア活動への参加を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の参加意識を高め、クラスにおいて学校行事に関する議論の活発化を図る。 ・生徒会執行部と議員の意思疎通を密にし、学校行事を円滑に行うことができるようにする。 ・機関誌や広報を発行し、生徒への情報発信を行う。 ・生徒が積極的に意見を出し、主体性を持って行事の運営に当たるよう指導する。 ・部室や活動場所の環境整備に努める。 ・部活動登録カード等を活用して実態把握に努める。 ・エコキャップ運動やあいさつ運動を行い、ボランティア活動への参加意識を高める。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・より高いレベルの進路目標実現にむけて早期の進路目標設定と学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導体制を充実させる。 ・キャリア教育を推進する。 ・補習、模擬試験を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、学年、教科と連携を図り、進路検討会での個別検討を一層充実させる。その際進路希望調査や実力テスト、模擬試験のデータなどを積極的に活用する。また、入試説明会などで得た情報の共有化を図る。 ・L Tや「総合的な探究の時間」を活用して、生徒の進路や職業に関する意識を継続的に喚起する。また、長期休業中のインターンシップへの参加を広く呼びかけ、積極的な参加を促す。 ・進路実現に向けて、教科や学年と連携して平常・夏季・冬季補習の講座内容の充実を図る。また、模擬試験の目的を学力養成と位置付け、受験を積極的にすすめるとともに事前事後の指導を充実させる。
保健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察の徹底 ・教育相談体制の充実 ・ごみ分別の徹底とごみの減量化 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のSTや各授業開始時の健康観察を全職員で行う。 ・生徒の心身の問題点を早期に発見し対応する。その記録を残し、継続的な支援に繋げる。 ・教育相談についての教職員の知識や理解を深める。 ・ごみ分別とごみ減量について呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察のポイントを知らせ、複数の目で観察する。 ・気になる生徒は保健室に報告してもらい、関係者で対応を話し合う。 ・保健室利用の数や理由の情報交換を密におこない、生徒の健康状態の把握に役立ててもらう。 ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症の罹患状況を早期に把握し、対策を講じる。 ・教育相談の知識や理解を深める方法を検討する。 ・増加するごみ処理費用を軽減するために分別の徹底と減量化を職員、生徒ともに取り組む。 ・リサイクル可能なものは捨てないように呼びかける。
図書 (図書部)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習情報センターとしての機能の充実 ・読書センターとしての機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の目録を整備する。 ・生徒の図書貸出利用増を図る。 ・読書会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の分類配列を適切にし、その目録を整備する。 ・学習の場としての機能を高めるための創意工夫を行う。 ・生徒の読みたい図書資料を中心に収集する。 ・展示・広報・企画で読書を喚起する。 ・読書会充実のため、教員が創意工夫を行う。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
国際理解 (国際理解部)	・国際交流事業の推進と発展を図り、生徒の国際意識を高める	・メントーンガールズセカンダリーカレッジとの交流の継続 ・イングリッシュサマーキャンプの実施 ・中村地球市民教室の実施 ・生徒国際交流委員会の活性化 ・留学生の受け入れ ・バンコクとのオンライン交流 ・JICA訪問の実施(国際理解コース) ・ベトナム研修旅行の実施(国際理解コース) ・エンパワーメントプログラム(国際理解コース)の実施	・オンライン交流を計画し、学校間交流を継続する。 ・授業や文化祭展示など姉妹校について知る機会をつくる。 ・委託業者と連携し、研修内容の充実を図り、感染症予防を含め研修中の生徒の安全確保に努める。 ・事前LTを実施し、NICと協力して内容の充実を図る。 ・全校生徒の国際意識高揚に寄与できるよう指導する。 ・円滑な学校生活のための支援を行う。 ・学校全体で取り組めるよう計画する。 ・ベトナム研修旅行の事前学習の1つとして計画する。 ・生徒や引率者の安全を確保できるよう現地の情報収集に努める。 ・異文化に触れ国際性を身につける機会となるよう研修内容の充実を図る。 ・高度な発信型の英語力及び異文化理解力を養えるよう研修内容の充実を図る。
第1学年	・基本的生活習慣の確立 ・学習習慣の確立	・遅刻、早退、欠席、提出物の期限など、時間を守るための働きかけとして、声掛けや関係分掌との連携を行う。 ・規則を理解・順守させる。身だしなみに対する言葉かけを普段から行う。 ・挨拶やマナーを身につけさせる働きかけを行う。 ・授業を大切にできる雰囲気を作らせる。家庭学習に対する助言を行う。	・教科担当、担任レベルの指導と並行し、指導部とも連携を取り、早出指導などの生活を改善させる指導を行う。また家庭との連絡を密にし生徒の生活状況の把握に努める。 ・普段の個人指導に加え、全体集会時等に学年担任団で指導する機会を作り、教員・生徒がともに身だしなみについて意識する機会を増やす。また、指導連絡票を利用するなどして段階的な指導を行う。 ・普段から教員が能動的に挨拶を行うことで、挨拶を習慣化させる。また、職員入室時のマナーを徹底させ、目上の人に対応する作法を身に付けさせる。 ・授業規律を徹底し、集団で授業に集中できる環境作りを意識させる。授業を受けるのにふさわしくない状況にある生徒は個別に指導し、改善を促す。場合によっては指導連絡票を用いて段階的に指導を行う。
第2学年	・進路目標の明確化と学力向上 ・中心学年としての自覚の育成	・進路目標を明確にし、実現に向けて学習への取組を充実させる。 ・調査結果や模試結果を活用し、実力を客観的に把握させる。目標達成に向けての対策を考えさせ、実践につなげる。 ・学校行事や部活動等に積極的に取り組み、中心となって活動できるよう、指導、助言する。 ・下級生の模範となる行動をさせる。	・進路希望調査や面談等を活用した進路目標の把握を行う。また具体的な学習方法を理解させ、実践できるようサポートを行う。 ・調査結果、模試結果を基に面談を行う。進路ガイダンスや学部学科説明会などを踏まえながらオープンキャンパスへの参加を促す。目標設定が適切になるよう助言をする。 ・生徒が率先して計画を立て、学校行事や組織運営を行えるように助言をする。生徒が自主的に行動できるよう核となるリーダーの育成に向けて助言、指導を行う。 ・身だしなみ、基本的生活習慣、学校行事への取組など、上級生として下級生の見本になる態度や行動に気づけるような言葉かけを行う。
第3学年	・人間力の育成と主体性の実現 ・進路実現	・学校行事を主体的に取り組ませる。 ・下級生の模範となる人間力の育成を行う。 ・進路決定に対し妥協せず最後まで努力させる。 ・個々の希望に合わせた進路指導ができるように進路指導部と協力する。	・修学旅行や学校祭などを主体的に参加させ、社会人として主体的に活躍することができるようにする。 ・社会人として必要なモラルやマナーを守らせ、下級生の模範となる行動を取らせる。 ・夢と情熱をもって最後まで努力し、安易に進路決定しないように指導する。また、決まった生徒も卒業まで学習意欲を継続させる。 ・進路検討会等の有効な活用法を模索し、生徒個々に最適な進路指導ができるように情報交換を密にする。
その他	・中村高校の特色づくり ・職員の健康管理	・国際理解コースを充実させる。 ・勤務時間を適正に管理する。 ・業務の効率化を図る	・国際理解の学校設定科目を3学年とも履修するため、関係教科と連携をとりながら充実させる。 ・グローバルルーム(視聴覚教室)やタブレット等のICT機器を有効活用して国際交流を進める。 ・衛生委員会を通じて在校時間を把握し、1か月の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、医師による面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努める。 ・分掌のグループ化を機能させ繁忙期にグループ間で助け合う雰囲気を構築する一方で、行事の精選を進める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・学習指導における学力向上のための取り組み ・生徒指導における規律正しい生活習慣の確立 ・進路指導における一層の進路意識の育成	